

ダイヤル通話料金明細内訳書（CSV）

【凡例：変更区分】

変更

：仕様変更あり

削除

：項目削除

-

：仕様変更なし

※「区分(型)」にかかわらず、データを文字列として判別できるようにダブルクォーテーション（"”）で囲んで出力

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
共通管理ファイルレコード					共通管理ファイルレコード					
共通管理ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXR1.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※R1：共通管理ファイルレコードを表します	共通管理ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXXXXX_YYYYMM_R1.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXXXXX：お客様番号（12桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R1：共通管理ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が共通管理ファイルレコードであることを示す"1"（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が共通管理ファイルレコードであることを示す"1"（半角）を出力	-
2	媒体識別	文字	2	"CD"を出力 ※本帳票をCDで提供していることを示します						削除
3	会社コード	文字	6	弊社がお客様単位に設定した会社コード（お客さま識別コード）を出力 例）"01234"（半角）	3	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例）"101234567890"（半角） ※一括請求の場合は12桁の番号を出力	変更
4	ファイル作成日付	文字	6	ファイル作成年月日"YYMMDD"（半角）を出力 例）2025年6月13日の場合 →"070613" ※YYは和暦で出力	4	ファイル作成日付	文字	8	ファイル作成年月日"YYYYMMDD"（半角）を出力 例）2025年6月13日の場合 →"20250613" ※YYYYは西暦で出力	変更
5	料金月	文字	4	ご請求年月"YYMM"（半角）を出力 例）2025年6月の場合 →"0706" ※YYは和暦で出力	5	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例）2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更
6	料金群	文字	1	お支払期限・振替日を示す番号を出力 例）お支払期限が末日の場合 →"3"を出力 ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力						削除
7	媒体通番	文字	2	弊社より提供するCDの一連番号を出力 例）CD媒体が1枚の場合 →"01"（半角）	7	ファイル作成通番	文字	2	お客様番号単位のファイルの一連番号を出力 ※本帳票では"01"（半角）を固定で出力	変更
8	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G=お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例）ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →"2025063"（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力						削除

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
電番管理ファイルレコード					電番管理ファイルレコード					
電番管理ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXR2.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※R2：電番管理ファイルレコードを表します	電番管理ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXXX_YYYYMM_R2.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXXX：お客様番号（12桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R2：電番管理ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番管理ファイルレコードであることを示す"2"（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番管理ファイルレコードであることを示す"2"（半角）を出力	-
2	親電話番号	文字	13	一括請求の代表番号を出力 例）"(03)5703-8611"（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例）"101234567890"（半角） ※一括請求の場合は12桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	一括請求の子番号を出力 例）"(03)5703-8611"（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力 ※一括請求の代表番号と同じ場合は半角スペース「" "」を出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例："03-5706-8611"（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）"I N S" 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）"I N Sサービス" 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
5	送付明細呼数	文字	7	通話回数を出力 例）789回通話した場合 →"0000789"（半角）	5	送付明細呼数	文字	7	通話回数を出力 例）789回通話した場合 →"0000789"（半角）	-
6	利用月日初日	文字	6	ご利用期間の初日（開始日）"YYMMDD"（半角）を出力 例）2025年5月1日の場合 →"070501" ※YYは和暦で出力	6	利用月日初日	文字	8	ご利用期間の初日（開始日）"YYYYMMDD"（半角）を出力 例）2025年5月1日の場合 →"20250501" ※YYYYは西暦で出力	変更
7	利用月日末日	文字	6	ご利用期間の末日（締切日）"YYMMDD"（半角）を出力 例）2025年5月31日の場合 →"070531" ※YYは和暦で出力	7	利用月日末日	文字	8	ご利用期間の末日（締切日）"YYYYMMDD"（半角）を出力 例）2025年5月31日の場合 →"20250531" ※YYYYは西暦で出力	変更
8	各種サービス番号	文字	11	サービス区分が「フリーダイヤル」、「テレゴング」、「ナビダイヤル」の場合、各種契約番号（ハイフン付き）を出力 例）"0120-123456"（半角） ※サービス区分が「クレジット」の場合、登録番号を出力 ※上記サービス区分以外は出力値なし	8	各種サービス番号	文字	11	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、各種契約番号（ハイフン付き）を出力 例） 0800-1234567の番号体系は、 "800-1234567"（半角） 0120-123456の番号体系は、 "0120-123456"（半角） ※上記サービス区分以外は空文字「""」を出力	変更

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
9	契約者回線番号	文字	13	サービス区分が「G S S」の場合、契約者回線番号を設定し、 項番2と同様ハイフン、カッコ付きで出力						削除
10	G S S インデックス	文字	6	サービス区分が「G S S」の場合、インデックスコードを出力						削除
11	出力形式	文字	6	出力形式を出力 例) “地域別” “呼毎” “発ID有” “発ID無”	11	出力形式	文字	6	出力形式を出力 例) “地域別” “呼毎” “発ID有り” “発ID無し”	変更
12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “東日本電信電話株式会社” “西日本電信電話株式会社” “N T T コミュニケーションズ”	12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “N T T 東日本株式会社” “N T T 西日本株式会社” “N T T ドコモビジネス”	変更
13	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G=お支払期 限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →"2025063"（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	13	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰り返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰り返し					

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
通話明細 ファイルレコード					通話明細 ファイルレコード					
通話明細 ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXR3.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※R3：通話明細 ファイルレコードを表します	通話明細 ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXXXXX_YYYYMM_R3.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXXXXX：お客様番号（12桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R3：通話明細 ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が通話明細 ファイルレコードであることを示す“3”（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が通話明細 ファイルレコードであることを示す“3”（半角）を出力	-
2	親電話番号	文字	13	一括請求の代表番号を出力 例）“(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例）"101234567890"（半角） ※一括請求の場合は12桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例）“(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例：“03-5706-8611”（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）“ I N S” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）“ I N Sサービス” 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
5	通信元電話番号	文字	13	サービス区分が「 I N S」かつ出力形式「発ID有」の場合、電話番号をハイフン編集して市外局番を除いて出力 例）03-5703-8611の場合 →"5703-8611"（半角） ※上記以外サービス区分の場合、半角スペース「" ”」を出力	5	通信元電話番号	文字	13	サービス区分が「 I N Sサービス」かつ出力形式「発ID有り」の場合、電話番号をハイフン編集して市外局番を除いて出力 例）03-5703-8611の場合 →"5703-8611"（半角） ※上記以外サービス区分の場合、空文字「""」を出力	変更
6	通話月日	文字	4	通話毎の発信月日“MMDD”（半角）を出力 例）5月1日の場合 →"0501"	6	通話月日	文字	4	通話毎の発信月日“MMDD”（半角）を出力 例）5月1日の場合 →"0501"	-
7	通話開始時刻	文字	6	通話毎の開始時刻“HHMMSS”（半角）を出力 例）通話開始時刻が9時3分1秒の場合 →"090301"	7	通話開始時刻	文字	6	通話毎の開始時刻“HHMMSS”（半角）を出力 例）通話開始時刻が9時3分1秒の場合 →"090301"	-
8	着信電話番号	文字	13	通話先電話番号を出力 例）“△03－1234－5678”（半角） ※右詰めで出力し、余白は半角スペース（△）を出力 ※携帯等の場合、“XXX-XXX-XXXX”で出力	8	着信電話番号	文字	13	通話先電話番号を出力 例：“03-1234-5678”（半角）	変更
9	県名	文字	10	通話先都道府県名等を出力 例）「千葉」「携帯等」 ※クレジットで番号案内を利用した場合、スペース「" ”」を出力 ※「各種コード表」の県名コード参照	9	県名	文字	10	通話先都道府県名等を出力 例）「千葉」「携帯等」 ※サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」かつ、出力形式が「地域別」の場合、空文字「""」を出力 ※「各種コード表」の県名コード参照	変更
10	通話時間	文字	8	通話時間“HHMMSSS”（半角）を桁数固定で出力 例）1時間25分6.0秒の場合 →"00125060”（桁余りは0埋め）	10	通話時間	文字	8	通話時間“HHMMSSS”（半角）を桁数固定で出力 例）1時間25分6.0秒の場合 →"00125060”（桁余りは0埋め）	-

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
11	通話料金	数字	10	通話料金を出力 例) 100円の場合、“1000”（半角） 0.4円の場合、“04”（半角） ※下1桁は小数点第1位、小数点は省略 ※「案内」の場合、回数を出力（下1桁は小数点第1位） 例) 100（10回の場合）	11	通話料金	数字	10	通話料金を出力 例) 100円の場合、“1000”（半角） 0.4円の場合、“04”（半角） ※下1桁は小数点第1位、小数点は省略 ※「案内」の場合、回数を出力（下1桁は小数点第1位） 例) 100（10回の場合）	-
12	予備	文字	10	半角スペースを出力 例) 「 ” ”						削除
13	手数料料金	数字	10	クレジットの手数料料金を出力 例) 100円の場合 →“100”（半角）						削除
14	発信県名	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル」、「テレゴング」、「ナビダイヤル」かつ出力形式が「地域別」の場合、県名を出力 ※上記サービス区分以外の場合、半角スペース「 ” ”」を出力	14	発信県名	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」かつ出力形式が「地域別」の場合、県名を出力 ※上記サービス区分以外の場合、空文字「 ” ”」を出力	変更
15	通話種別	文字	20	通話種別の名称を出力 ※サービス区分が「フリーダイヤル」「ナビダイヤル」かつ出力形式が「地域別」のアナログの場合、半角スペース「 ” ”」を出力	15	通話種別	文字	20	通話種別の名称を出力 ※サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」かつ出力形式が「地域別」の場合、半角スペース「 ” ”」を出力	変更
16	昼夜別	文字	18	通話時間帯を出力 例) “昼間” 等 ※県名コードが「案内」の場合、半角スペース「 ” ”」を出力	16	昼夜別	文字	18	通話時間帯を出力 例) “昼間” 等 ※県名コードが「案内」の場合、半角スペース「 ” ”」を出力	-
17	フリーダイヤルサービス種別	文字	20	サービス区分が「フリーダイヤル」、「ナビダイヤル」の場合、フリーダイヤルサービス種別の名称を出力 ※「各種コード表」のフリーダイヤルサービス種別コード表を参照	17	フリーダイヤルサービス種別	文字	20	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、フリーダイヤルサービス種別の名称を出力 ※「各種コード表」のフリーダイヤルサービス種別コード表を参照	変更
18	発MA	文字	12	サービス区分が「フリーダイヤル」、「ナビダイヤル」で、出力形式が「呼毎」の場合及びサービス区分が「クレジット」の場合、発MAの名称を出力 例) “札幌” 等	18	発MA	文字	12	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、発MAの名称を出力 例) “札幌” 等	変更
19	各種サービス番号	文字	11	サービス区分が「フリーダイヤル」、「テレゴング」、「ナビダイヤル」の場合、各種契約番号（ハイフン付き）を出力 例) “0120-123456”（半角） ※サービス区分が「クレジット」の場合、登録番号を出力 ※上記サービス区分以外は出力値なし	19	各種サービス番号	文字	11	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、各種契約番号（ハイフン付き）を出力 例) 0800-1234567の番号体系は、 “800-1234567”（半角） 0120-123456の番号体系は、 “0120-123456”（半角） ※上記サービス区分以外は空文字「 ” ”」を出力	変更
20	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “東日本電信電話株式会社” “西日本電信電話株式会社” “N T T コミュニケーションズ”	20	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “N T T 東日本株式会社” “N T T 西日本株式会社” “N T T ドコモビジネス”	変更

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
21	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G=お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例）ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →"2025063"（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	21	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例）2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰り返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰り返し					

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
電番合計ファイルレコード					電番合計ファイルレコード					
電番合計ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXR5.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※R5：電番合計ファイルレコードを表します	電番合計ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXXX_YYYYMM_R4.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXXX：お客様番号（12桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R4：電番合計ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番合計ファイルレコードであることを示す"5"（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が電番合計ファイルレコードであることを示す"4"（半角）を出力	変更
2	親電話番号	文字	13	一括請求の代表番号を出力 例）"(03)5703-8611"（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例）"101234567890"（半角） ※一括請求の場合は12桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例）"(03)5703-8611"（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例："03-5706-8611"（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	利用種類サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）"I N S" 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）"I N Sサービス" 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
5	利用種類利用区分	文字	60	利用区分を出力 例）"INS・スピーチ" 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	5	利用区分	文字	60	利用区分を出力 例）"INS・スピーチ" 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	変更
6	合計金額	数字	9	ご利用期間内の通話明細レコードの合計金額もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例）100円の場合 →"100"（半角）	6	合計金額	数字	9	ご利用期間内の通話明細レコードの合計金額もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例）100円の場合 →"100"（半角） ※小数点以下は切り捨て ※値が0の場合、利用内訳、サービス区分に応じて"0"または""を出力	変更
7	月間加減算金額	数字	9	ご利用期間内に発生した加減算の合計料金を出力 例：100円の場合 →"100"（半角）						削除
8	区域内通話合計金額	数字	9	ご利用期間内の区域内通話（市内通話）料金の合計金額を出力 例：100円の場合 →"100"（半角）						削除
9	非希望時合計金額	数字	9	料金明細内訳記録非希望期間の通話料金もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例：100円の場合 → "100"（半角）	9	非希望時合計金額	数字	9	料金明細内訳記録非希望期間の通話料金もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例）100円の場合 →"100"（半角） ※小数点以下は切り捨て ※値が0の場合、利用内訳、サービス区分に応じて"0"または""を出力	変更

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
10	請求額金額	数字	9	項番6～9の通話料金もしくは、番号案内回数の合計値を出力 例) 100円の場合 → "100"（半角）	10	請求額金額	数字	9	「合計金額」「非希望時合計金額」の通話料金もしくは、番号案内回数 の合計値を出力 例) 100円の場合 →"100"（半角） ※小数点以下は切り捨て ※利用内訳、サービス区分に応じて請求額金額のみ出力し、 合計金額、非希望時合計金額は出力しない	変更
11	通話時間	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル」「クレジット」の場合、ご利用期間 内の累積通話時間（HHHHMMSSS）を出力 例) 1時間25分6.0秒の場合 →"0000125060"（半角）	11	通話時間	文字	10	サービス区分が「フリーダイヤル/フリーアクセス」の場合、ご利用期間 内の累積通話時間（HHHHMMSSS）を出力 例) 1時間25分6.0秒の場合 →"0000125060"（半角）	変更
12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) "東日本電信電話株式会社" "西日本電信電話株式会社" "N T T コミュニケーションズ"	12	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) "N T T 東日本株式会社" "N T T 西日本株式会社" "N T T ドコモビジネス"	変更
13	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G=お支払期 限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →"2025063"（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	13	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分、利用区分の種別数分繰返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分、利用区分の種別数分繰返し					

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
割引情報ファイルレコード					割引情報ファイルレコード					
割引情報ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXR6.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※R6：割引情報ファイルレコードを表します	割引情報ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXXX_YYYYMM_R5.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXXX：お客様番号（12桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R5：割引情報ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が割引情報ファイルレコードであることを示す”6”（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が割引情報ファイルレコードであることを示す”5”（半角）を出力	変更
2	親電話番号	文字	13	一括請求の代表番号を出力 例）”(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	2	お客様番号	文字	12	請求書に記載される弊社がお客様の請求単位に設定した12桁または10桁の番号を出力 例）"101234567890"（半角） ※一括請求の場合は12桁の番号を出力	変更
3	子電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例）”(03)5703-8611”（半角） ※ハイフン、カッコ付きで出力	3	電話番号	文字	13	実際の発信電話番号または課金先電話番号を出力 例：”03-5706-8611”（半角） ※ハイフン付きで出力	変更
4	利用種類サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）”I N S” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	4	サービス区分	文字	20	サービス区分の名称を出力 例）”I N Sサービス” 等 ※「各種コード表」のサービス区分コード参照	変更
					5	利用区分	文字	60	利用区分を出力 例）”INS・スピーチ” 等 ※「各種コード表」の利用種類コード参照	変更
6	割引区分	文字	20	割引区分を出力 ※「各種コード表」の割引区分コード参照						削除
7	割引種別	文字	20	割引種別を出力 ※「各種コード表」の割引種別コード参照						削除
8	割引対象通話料	数字	10	割引対象の割引前料金を出力 例）10円の場合 → ”10”（半角）	8	割引対象通話料	文字	10	割引対象の割引前料金を出力 例）10円の場合 → ”10”（半角）	-
9	予備	数字	10	ゼロを出力 例）0（半角）						削除
10	予備	数字	10	ゼロを出力 例）0（半角）						削除
11	クレジット割引対象通話料	数字	10	割引対象のクレジット通話の割引前料金を出力 例：100円の場合 →"100"（半角）						削除

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
12	予備	数字	10	ゼロを出力 例) 0（半角）						削除
13	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “東日本電信電話株式会社” “西日本電信電話株式会社” “N T T コミュニケーションズ”	13	利用内訳	文字	30	ご利用内訳毎の会社名を出力 例) “N T T 東日本株式会社” “N T T 西日本株式会社” “N T T ドコモビジネス”	変更
14	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G＝お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →“2025063”（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	14	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →“202506” ※YYYYは西暦で出力	変更
第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分の種別数分繰り返し					第2レコード以降、一括請求における通話明細申込済みの電話番号数分繰り返し（「レコード識別」～「年月群」） ※同一電話番号でサービス区分が複数存在する場合、サービス区分、利用区分の種別数分繰り返し					

2025年12月ご請求分までの出力項目					2026年1月ご請求分以降の出力項目					変更区分
【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					【対象のお客さま】 請求書に記載のお問い合わせ先が「ビジネスSSC（金沢）以外」のお客さま					
項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	項番	項 目	区分(型)	桁数	内 容	
終了ファイルレコード					終了ファイルレコード					
終了ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXR9.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXX：会社コードを表します ※R9：終了ファイルレコードを表します	終了ファイルレコード				出力ファイル名 MXXXXXXXXXXXX_YYYYMM_R6.csv ※M：ダイヤル通話料金明細内訳書を表します ※XXXXXXXXXXXX：お客様番号（12桁）を表します ※YYYYMM：ご請求年月を表します ※R6：終了ファイルレコードを表します	変更
1	レコード識別	文字	1	本帳票が終了ファイルレコードであることを示す"9"（半角）を出力	1	レコード識別	文字	1	本帳票が終了ファイルレコードであることを示す"6"（半角）を出力	変更
2	C D枚数	文字	2	弊社より提供するC Dの一連番号を出力 例) CD媒体が1枚の場合 →"01"（半角）	2	ファイル作成数	文字	2	共通管理レコードから終了ファイルレコードまでの総ファイル数を出力 例) 割引情報ファイルレコード以外が出力される場合 →"05"（半角）	変更
3	総出力レコード数	数字	9	共通管理レコードから終了レコードまでの総レコード数を出力 例) 1000レコードの場合 →"1000"（半角）	3	総出力レコード数	数字	9	共通管理レコードから終了レコードまでの総レコード数を出力 例) 1000レコードの場合 →"1000"（半角）	-
4	年月群	文字	7	ご請求年月及びお支払期限・振替日を「"YYYYMMG"（G＝お支払期限・振替日を示す数字）」で出力 例) ご請求年月が2025年6月、お支払期限・振替日が末日の場合 →"2025063"（半角） ※お支払期限・振替日が、毎月、20日：1、25日：2、 末日：3、5日：4、10日：5、15日：6、として出力	4	料金月	文字	6	ご請求年月"YYYYMM"（半角）を出力 例) 2025年6月の場合 →"202506" ※YYYYは西暦で出力	変更